

## 令和4年度 事業報告書

特定非営利活動法人 自然環境復元協会

## 1 事業の成果

## (1) 特定非営利活動に係る事業

## ①環境教育及び環境人材の育成に係る活動

## 1) 資格認定講習

- ・開催回数 1回
  - ・実施級 初級・中級・上級
  - ・実施期間 2023年1月7日（土）～1月31日（火）
  - ・受講者数 116名（内訳等以下）。
- ・多様な分野からの受講を促進するための制度改定2年目となり、非環境分野を含む約20分野の受講者が受講（内訳等以下）。
  - ・若手環境人材からの受講促進を目的に、初級受講条件を18歳以上（学生含む）と改訂した。本年度は、高校生を含む13人の現役学生が受講（内訳等以下）。
  - ・3年連続にてオンライン開催し、30都道府県から受講（内訳等以下）。

令和4年度受講者・認定者数内訳（単位：人）

級	受講者数	認定者数
初級	69	57
中級	42	39
上級	5	5
合計	116	101

資格認定講習 受講者数（認定者数）推移（直近5年）（単位：人）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
初級	6（5）	6（6）	14（12）	42（38）	69（57）
中級	17（16）	24（24）	23（23）	25（25）	42（39）
上級	0（0）	1（1）	0（0）	5（5）	5（5）
合計	23（21）	31（31）	37（35）	72（67）	116（101）

令和4年度受講者分野内訳

約20分野（人数・％）

サービス業/非環境系（17人・14.7%）、市民団体（16人・13.8%）、学生（13人・11.2%）、農林漁業（11人・9.5%）、公務員（9人・7.8%）、造園業（6人・5.2%）、製造業/工業系（5人・4.3%）、運輸業（4人・3.4%）、主婦/主夫（4人・3.4%）、情報通信業（4人・3.4%）、教育機関（4人・3.4%）、環境教育施設（4人・3.4%）、その他（サービス業/環境系、建設コンサルタント、エネルギー業、不動産業、福祉団体、経営コンサルタント、商社、マスメディア、金融業、環境調査/分析 など）

令和4年度受講者年齢層内訳

年代	人数	割合
学生	13人	11%
20代	11人	9%
30代	23人	20%
40代	37人	32%
50代	25人	22%
60代	7人	6%

令和4年度受講者地域内訳 計31都道府県（人数・％）

北海道（4人・3.4%）、青森県（2人・1.7%）、岩手県（3人・2.6%）、福島県（2人・1.7%）、山形県（3人・2.6%）、宮城県（2人・1.7%）、新潟県（2人・1.7%）、群馬県（5人・4.3%）、茨城県（2人・1.7%）、埼玉県（5人・4.3%）、東京都（24人・20.7%）、千葉県（9人・7.8%）、山梨県（3人・2.6%）、長野県（3人・2.6%）、富山県（1人・0.9%）、神奈川県（13人・11.2%）、静岡県（5人・4.3%）、岐阜県（2人・1.7%）、愛知県（5人・4.3%）、三重県（1人・0.9%）、京都府（3人・2.6%）、奈良県（1人・0.9%）、大阪府（4人・3.4%）、兵庫県（3人・2.6%）、岡山県（1人・0.9%）、広島県（1人・0.9%）、香川県（1人・0.9%）、福岡県（3人・2.6%）、熊本県（1人・0.9%）、鹿児島県（1人・0.9%）、沖縄県（1人・0.9%）

2) 認定校制度

- ・298名の環境再生医初級取得者を認定（内訳等以下）。
- ・申請減や遅延要因（covid-19や物価高による学生の経済的困窮、教員からの対面説明機会減、対面授業移行準備等による担当者多忙など）の動きについては継続して情報収集し、代替案等を検討予定。
- ・認定校数は昨年度と同じ37校を維持（内訳等以下）。

認定校での認定者数推移（直近5年）

（単位：人）

	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
認定者数	257	282	261	304	298

令和4年度 認定校別環境再生医初級取得者数

（単位：人）

学校名		取得者数
岩手県立大学	総合政策学部	10
岩手大学	農学部	8
岩手大学	人文社会科学部	3
江戸川大学	社会学部	0
大阪産業大学	人間環境学部	8
金沢大学	人間社会学域	0
岐阜女子大学	家政学部	0
岐阜大学	応用生物科学部	7
九州産業大学	工学部	19
京都先端科学大学	バイオ環境学部	4
甲南大学	文学部	0
神戸女学院大学	人間科学部	6
神戸大学		15
実践女子大学	生活科学部	3
芝浦工業大学	システム理工学部	14
尚絅学院大学	総合人間科学部	0
信州大学	農学部	24
東京テクニカルカレッジ		9
第一工科大学	工学部	2
拓殖大学	政経学部	5
拓殖大学	国際学部	4
拓殖大学北海道短期大学	農学ビジネス学科	3
玉川大学	農学部	27
都留文科大学	文学部	10
東海工業専門学校金山校	昼間部	0
東海大学	海洋学部	15
東京農業大学	農学部	21
東京農工大学	農学部	0
常葉大学	社会環境学部	0
長崎大学	環境科学部	8
西日本短期大学	緑地環境学科	0
日本工科大学校	環境建設工学科	1
日本大学	生物資源科学部	31
日本大学	理工学部	10
人間環境大学	人間環境学部	15
兵庫県立大学大学院	緑環境景観マネジメント研究科	3
北海道科学大学	工学部	0
前橋工科大学	工学部	1
宮崎大学	農学部	0
龍谷大学	(学部共通)	12
	合計	298

## 認定校数推移（直近5年）

（単位：校）

	平成30年 2018	令和元年 2019	令和2年 2020	令和3年 2021	令和4年 2022
①継続	34	34	35	37	37
②新規	0	1（拓大国際）	2（福島大・ 人間環境大）	0	0
③関係回復	1（信州大）	1（江戸大）	0	0	0
休眠	10	9	9	9	9
中止	1（IWAD/科目 廃止）	1（宮崎大/科目 廃止）	1（宮城大/科 目廃止）	0	0
稼働校計 （①+②+③）	35	36	37	37	37

## 3) 資格制度の質の向上

- ・認定校講義受託（継続案件）：1件（龍谷大学/環境再生医フィールド研修内特別講義）。
- ・環境再生医へ有償案件紹介（継続案件）：1件（東京テクニカルカレッジ/環境保全実習講師）。
- ・資格取得者への情報提供  
    メーリングリスト約40件（継続学習情報、人材募集情報、環境再生医関連活動案内など）
- ・レンジャーズプロジェクトとの連携  
    認定校取得者へのレンジャーズやボランティアリーダー案内、資格認定講習受講者募集、One Tree Planted案件運営など。
- ・ふるさと未来プロジェクトとの連動  
    環境再生医への未来塾イベント参加者募集案内など。
- ・CSOラーニング企画（SOMPO環境財団）との連動  
    認定校への企画説明、参加者募集案内など。

## 4) 資格取得者の管理（更新等）

- ・更新率対象者数57名のうち35名が更新を行った。
- ・更新率は61.4%。

## 更新率（直近5年）

（単位：%）

	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
更新率	69.3	58.9	72.1	71.1	61.4

- ・資格認定登録者101名のうち57名（入会率56%・運営会員10名・協力会員47名）がNAREC会員に入会した。

## 入会率（直近5年）

（単位：%）

	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
入会率	-	-	-	62.1	56.4

## ②身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動

## 1) レンジャーズプロジェクト

レンジャーズ隊員の派遣を43回行い、423人の参加があった（企業・認定校のレンジャーズは除く）。隊員登録数は4733名。（2023年3月31日時点）

以下過去実績

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
活動回数	49回	39回	37回	23回	40回
参加者数	340人	333人	394人	218人	331人
隊員登録数	2,813人	3,058人	3,481人	4,039人	4381人

## 2) 新規フィールドの募集

2022年5月25日（水）～7月14日（木）の期間で、本プロジェクトの受け入れ先となるフィールドを新規に2箇所応募した。対象は、東京都23区内もしくは、23区に隣接している市区で活動をしている団体で、市民活動団体（指定管理者は除く）として地域に根差し、身近な自然（公園、雑木林等）の環境保全活動を定期的に行う団体である。募集は、ホームページへの掲載、NARECのメルマガ・レンジャーズプロジェクトの隊員へのメール配信、外部募集サイトへの掲載などを行った。

募集の結果、神奈川県川崎市高津区の「高津区市民健康の森を育てる会」と東京都中央区の「育てる芝生～イクシバ！プロジェクト～」の2箇所を採択した。

## 3) 新規リーダーの募集

2022年11月に新規リーダーの募集を行った。リーダーは、フィールド活動当日に現場へ行き、参加者と現地団体の橋渡し役などを担う。近年、リーダーの人員不足が深刻な問題であった。今回はホームページや外部サイトへの掲載を行い、有償のリーダーを募集した。募集の結果、新規に5名登用した。

## 4) 企業連携・受託事業

横浜市内でのレンジャーズの実施は、NPO法人よこはま里山研究所と協働で行った。また、NPO法人よこはま里山研究所が横浜市より受託した事業「森づくりボランティア体験会」の一部業務を受託し、隊員を7回派遣した。

米国One Tree Plantedとの協働で、2022年9月に埼玉県川口市にて環境保全活動、10月に沖縄県糸満市にて植樹プログラムを行った。

## 5) その他

2022年11～12月に、大学生以上の学生を対象としたプログラムを開催した。内容は、オンライン勉強会1回、フィールド活動2回の全3回のプログラムであった。

## ③農山漁村の活性化及び環境保全型農林業に係る活動

### 1) ふるさと未来創造事業

農林水産省「令和4年度農山漁村振興交付金」の採択があった地域協議会へ事業化・組織化等の伴走支援や助言等を行った。

団体名称／地域	内容
市原みつばち牧場農泊推進協議会／千葉県市原市	みつばち牧場の地域資源を活用した体験コンテンツ造成のためのインタープリター指導者育成、データ収集分析、ブランディング検証・改善、経営戦略、マーケティング戦略の構築、新規プログラムの開発・トータルコーディネートなどを行った。
たかす農泊実施協議会／岐阜県郡上市高鷲地区	農政局に帯する報告書の作成助言等の支援業務を行った。
Green School Yakushima／鹿児島県熊毛郡屋久島町	屋久島の里巡りを中心とした環境教育的体験コンテンツ造成のためのアンケート調査、モニターツアーへの動向・助言を業務として行った。NPO法人化の資料の助言等を行った。 事業者体験、モニターツアーを実施した。
木繋プロジェクト／鹿児島県熊毛郡屋久島町	木育プログラム構築のための合意形成の補助、ふりかえりのポイントの共有、ブラッシュアップに向けた相談、またモニターツアー実施後の報告書支援などを行った。

### 2) 環境系学生未来塾

#### ・泰阜村

NPO法人Hub&Labo Yakushima、NPO法人グリーンウッド自然体験教育センターと協働で、9月12日～15日に8名の学生を対象に実施した。コロナ禍で活動制限された中での実施であった。次年度以降も実施予定である。

#### ・in耶馬溪の試行

屋久島、泰阜村に次ぐ新たな開催地として耶馬溪で未来塾を実施するため、10月より検討を行い、安全管理マニュアル、コロナ対策マニュアルを作成した。12月にオンラインイベントを開

催後、NPO法人Hub&Labo Yakushimaの協力のもと、株式会社「森と人と」との共同開催として2023年2月13日～16日に4名の学生を対象に実施した。今後は広報活動を展開し、次年度も実施予定である。

- ・モデル化に向けたマニュアルを作成した。(当日の流れ、当日までの学生スタッフの育成)
- ・アンケートを実施した。(未来塾の関係人口創出の効果を可視化するために実施)
- ・未来塾の広報冊子の作成：1500冊作成  
(地域向け400冊、大学向け500冊、新規地域100冊、NAREC保管100冊)
- ・未来塾PR動画を作成した。今後YouTubeなどに掲載する予定

#### ④自然体験学習に係る活動

- ・2022年11～12月に、大学生以上の学生を対象としたレンジャーズプロジェクトのオンライン勉強会1回、フィールド活動2回を実施した。
- ・ニュースレターで自然体験学習に関わる活動の参考になる図書の紹介を行った
- ・環境系学生未来塾において、学生に対しての自然体験学習を行った。

#### ⑤テキスト等の出版に係る活動

##### 1) 環境再生医テキストの改訂

- ・環境再生医テキスト改訂に向けた構成案の作成を行った。

#### ⑥社会啓発や情報発信等に係る活動

##### 1) ニュースレター

活動報告3回(全4頁)と年次報告1回(全8頁)を発行し、エコメール便で発送した。

月・No	内容
7月 No. 76	2021年度年次報告書、理事長ごあいさつ、新役員ごあいさつ、退任ごあいさつ 事業レポート ふるさと未来創造プロジェクト 活動レポート 環境プチ勉強会 (アーカイブ動画配信中)
10月 No. 77	事業レポート ふるさと未来創造プロジェクト、レンジャーズプロジェクト、 環境再生医 資格認定講習 ~オンライン開催~
1月 No. 78	環境教育委員長あいさつ 事業レポート ふるさと未来創造プロジェクト、レンジャーズプロジェクト 活動レポート 学生限定レンジャーズ
3月 No. 79	特集 2022年度 環境再生医「資格認定講習」開催報告 事業レポート ふるさと未来創造プロジェクト、レンジャーズプロジェクト 活動レポート インターン活動報告

#### ⑦自然環境の復元の学術的発展に貢献する活動

- ・自然環境の復元の学術的発展に資するため、環境再生医テキスト改訂に取り組み始めた。
- ・学術的発展を推進するため、日本櫻学会と協働での取り組みを計画し始めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【15,677】千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
①環境教育及び環境人材の育成に係る活動	1)資格認定講習 2)認定校制度 3)資格制度の質の向上 4)資格取得者の管理(更新等)	1) 1/7～1/31 2) 通年 3) 通年 4) 通年	1) 全国、オンライン 2) 全国 3) 東京都、京都府、オンライン 4) 全国	1) 2人 2) 2人 3) 1人 4) 2人	1) 受講者 116人 2) 認定者 298人 3) 再生医ML (ML兼ねる)登録者 2,435人 4) 更新者 35人	2,714
②身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動	1)レンジャーズプロジェクト 2)新規フィールドの募集 3)新規リーダーの募集 4)企業連携・受託事業	1) 通年 2) 通年 3) 通年 4) 通年	1) 埼玉県、東京都、神奈川県、大阪府 2) 東京都、神奈川県 3) 埼玉県、東京都、神奈川県 4) 埼玉県、東京都、神奈川県、沖縄県	1) 5人 2) 2人 3) 2人 4) 3人	1) 登録者 4,733人 2) 新規団体 2団体 3) 新規リーダー5人 4) 実施回数 9回	4,282
③農山漁村の活性化及び環境保全型農林業に係る活動	1)ふるさと未来創造事業 2)環境系学生未来塾	1) 通年 2) 通年	1)千葉県市原市、岐阜県郡上市、鹿児島県熊毛郡屋久島町 2)長野県泰阜村、大分県中津市	1) 3人 2) 5人	1) 4団体 2) 受入団体 2団体 参加者 12名	7,823
④自然体験学習に係る活動	特になし					0
⑤テキスト等の出版に係る活動	環境再生医テキストの改訂	通年	東京	2人	—	0
⑥社会啓発や情報発信等に係る活動	ニュースレター	年4回	東京	4人	発送数 1,215件	858
⑦自然環境の復元の学術的発展に貢献する活動	特になし					0

(2) その他の事業  
なし

事業報告用

令和4(2022)年度 活動計算書 (その他事業がない場合)

特定非営利活動法人自然環境復元協会

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
<b>【A】 経常収益</b>			
1	受取会費		1,517,000
	正会員受取会費	469,000	
	賛助会員受取会費	1,039,000	
	受取入金	9,000	
2	受取寄附金		7,373,929
	受取寄附金	7,373,929	
	施設等受入評価益	0	
3	受取助成金等		5,589,845
	受取助成金	1,000,000	
	受取補助金	4,589,845	
4	事業収益		8,538,000
	受託金事業収益	2,847,000	
	再生医講習会費収益	4,728,000	
	催事参加費収益	462,000	
	資料配布収益	0	
	その他事業収益	501,000	
5	その他の収益		134,919
	受取利息	195	
	雑収益	134,724	
<b>経常収益計</b>			<b>23,153,693</b>
<b>【B】 経常費用</b>			
1	事業費		
	(1) 人件費		5,143,249
	給料手当	0	
	賞与	0	
	役員報酬	0	
	臨時雇用賃金	4,922,914	
	退職給付費用	0	
	通勤費	140,503	
	法定福利費	72,855	
	福利厚生費	6,977	
	(2) その他経費		10,533,648
	業務委託費	6,347,381	
	諸謝金	54,000	
	印刷製本費	125,468	
	会議費	0	
	旅費交通費	616,732	
	車両費	26,615	
	リース料	57,827	
	車両燃費費	0	
	通信運搬費	762,128	
	消耗品費	237,196	
	広告料	6,380	
	新聞図書費(事業)	4,676	
	水道光熱費	96,858	
	地代家賃	882,663	
	賃借料	7,848	
	会計士報酬	252,450	
	減価償却費	67,494	
	保険料	37,408	
	諸会費	64,187	

接待交際費	0	
租税公課	709,744	
研 修 費	0	
支払手数料	172,716	
支払利息	0	
雑 費	3,877	
<b>事業費計</b>		<b>15,676,897</b>
<b>2 管理費</b>		
<b>(1) 人件費</b>		<b>284,801</b>
給 料 手 当	0	
賞 与	0	
役 員 報 酬	0	
パート・アルバイト給料	266,138	
退 職 金	0	
退職給付費用		
通 勤 費	11,007	
法定福利費	6,425	
福利厚生費	1,231	
<b>(2) その他経費</b>		<b>634,732</b>
印刷製本費	8,340	
会 議 費	0	
旅費交通費	1,217	
車 両 費	0	
車両燃費費	0	
通信運搬費	56,283	
消 耗 品 費	32,789	
修 繕 費	0	
水道光熱費	17,092	
地 代 家 賃	294,227	
賃 借 料	1,392	
広告宣伝費	0	
接待交際費	0	
新聞図書費	824	
委託手数料	1,650	
会計士報酬	44,550	
諸 謝 金	0	
減価償却費	11,919	
保 險 料	636	
諸 会 費	9,563	
慶 弔 費	0	
リース料	10,205	
租 税 公 課	125,252	
支払手数料	18,110	
支払利息	0	
雑 費	683	
<b>管理費計</b>		<b>919,533</b>
<b>経 常 費 用 計</b>		<b>16,596,430</b>
<b>当期経常増減額 【A】 - 【B】 . . . ①</b>		<b>6,557,263</b>
<b>【C】 経 常 外 収 益</b>		
固定資産売却益	0	
過年度損益修正益	0	
<b>経 常 外 収 益 計</b>		<b>0</b>
<b>【D】 経 常 外 費 用</b>		
固定資産売却損	0	
災害損失	0	
過年度損益修正損	0	
<b>経 常 外 費 用 計</b>		<b>0</b>
<b>当期経常外増減額 【C】 - 【D】 . . . ②</b>		<b>0</b>
<b>税 引 前 当 期 正 味 財 産 増 減 額 ①+② . . . ③</b>		<b>6,557,263</b>
法人税、住民税及び事業税 . . . ④		70,000
前期繰越正味財産額 . . . ⑤		21,531,654
<b>次 期 繰 越 正 味 財 産 額 ③-④+⑤</b>		<b>28,018,917</b>

## 令和4(2022)年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 自然環境復元協会  
(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
【A】	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金	27,248,060	
	未収金	342,473	
	前払費用	126,850	
	仮払金	70,692	
	棚卸資産	0	
	流動資産合計・・・①		27,788,075
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		
	車両運搬具	0	
	什器備品	99,178	
			99,178
	(2)無形固定資産		
	ソフトウェア	0	
	借地権	0	
			0
	(3)投資その他の資産		
	敷金	164,600	
	出資金	350,000	
	長期貸付金	0	
	固定資産合計・・・②		514,600
【A】	資産合計 ①+②		28,401,853
【B-1】	負債の部		
1	流動負債		
	未払金	63,022	
	預り金	36,914	
	前受金	283,000	
	流動負債合計・・・③		382,936
2	固定負債		
	長期借入金	0	
	退職給付引当金	0	
	固定負債合計・・・④		0
	負債合計 ③+④		382,936
【B-2】	正味財産の部		
	前期繰越正味財産額	21,531,654	
	当期正味財産増減額	28,018,917	
	正味財産合計		28,018,917
【B】	負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】		28,401,853

## 令和4(2022)年度 財産目録

特定非営利活動法人 自然環境復元協会  
(単位:円)

科	目	金額	小計	合計
【A】	資産の部			
1	流動資産			27,788,075
	現金預金		27,248,060	
	手元現金	32,992		
	三菱UFJ銀行普通預金	18,507,353		
	三菱UFJ銀行②普通預金	0		
	三菱UFJ銀行③普通預金	0		
	ゆうちょ銀行	8,699,304		
	郵便振替口座/一般(四谷大木戸郵便局)	5,304		
	郵便振替口座/会費(四谷大木戸郵便局)	3,107		
	未収収益		342,473	
	R4.労働保険確定保険/東京都	65,893		
	環境教育及び環境人材育成事業未収金	74,080		
	身近な自然環境保全事業未収金	2,500		
	農山漁村の活性化等に関する事業の未収金	200,000		
	前払費用		126,850	
	齋藤耕之家賃・振込料	91,190		
	5年度、右部棚田オーナー会費	35,660		
	仮払金		70,692	
	R5.労働保険概算保険/東京都	70,692		
	棚卸資産		0	
	販売用寄附物品	0		
	流動資産合計・・・①	27,788,075		27,788,075
2	固定資産			613,778
	(1)有形固定資産			99,178
	車両運搬具		0	0
	事業用車両	0		
	什器備品		99,178	
	パソコン	99,178		
	(2)無形固定資産			0
	ソフトウェア		0	
	オペレーションシステム	0		
	文書編集ソフト	0		
	借地権		0	
	市事業所	0		
	(3)投資その他の資産			514,600
	敷金(齋藤耕之)	164,600	164,600	
	出資金(東京コミュニティバンク)	350,000	350,000	
	長期貸付金		0	0
	銀行	0		
	固定資産合計・・・②	613,778		613,778
【A】	資産合計(①+②)	28,401,853		28,401,853
【B-1】	負債の部			
1	流動負債			382,936
	未払金		63,022	
	3月分日本郵便	16,870		
	3月分JCB	990		
	3月分富士フイルムビジネスイノベーションジャパン	12,650		
	3月分ニッポンレンタカー	0		
	3月分NITファイナンス・NITコミュニケーション	6,327		
	3月分トライコーン	5,500		
	3月分スマート書庫/三井倉庫ビジネスパートナー(株)	770		
	3月分クレジット決済手数料/味ッパメント	0		
	3月分未払金、高野里緒菜・社会保険料	19,915		
	前受金		283,000	
	5年度、運営会員会費・賛助会員会費	283,000		
	預り金		36,914	
	源泉徴収税	12,885		
	住民税	6,200		
	社会保険料	17,829		
	流動負債合計・・・③	382,936		382,936
2	固定負債			0
	長期借入金		0	
	日本政策金融公庫	0		
	退職給付引当金		0	
	職員	0		
	固定負債合計・・・④	0		0
【B-1】	負債合計(③+④)	382,936		382,936
【B-2】	正味財産合計【A】-【B-1】	28,018,917		28,018,917